平成26年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年6月7日

上場会社名　株式会社シーイーシー　　上場取引所　東
コード番号　9692　URL　http://www.cec-ltd.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 柏木　茂
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長　(氏名) 筒井　伸二　TEL 046-252-4111

四半期報告書提出予定日　平成25年6月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年1月期第1四半期の連結業績(平成25年2月1日～平成25年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年1月期第1四半期	10,658	8.8	556	42.2	573	29.7	226	△42.6
25年1月期第1四半期	9,798	△10.2	391	△26.5	442	△24.5	394	―

(注)包括利益　26年1月期第1四半期　353百万円　(△13.0%)　25年1月期第1四半期　405百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年1月期第1四半期	13.01	―
25年1月期第1四半期	22.65	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年1月期第1四半期	34,826	20,015	56.2
25年1月期	33,978	19,838	57.2

(参考) 自己資本　26年1月期第1四半期　19,570百万円　25年1月期　19,421百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年1月期	―	10.00	―	10.00	20.00
26年1月期	―				
26年1月期(予想)		10.00	―	10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 1月期の連結業績予想(平成25年 2月 1日～平成26年 1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,600	0.5	800	13.1	700	3.2	400	△21.8	22.95
通期	41,000	3.4	2,000	16.2	1,800	10.2	1,000	△21.1	57.37

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年1月期1Q	18,800,000 株	25年1月期	18,800,000 株
② 期末自己株式数	26年1月期1Q	1,370,702 株	25年1月期	1,370,702 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年1月期1Q	17,429,298 株	25年1月期1Q	17,429,298 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報..... 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報..... 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報..... 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報..... 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項..... 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動..... 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用..... 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示..... 3
３．四半期連結財務諸表..... 4
(1) 四半期連結貸借対照表..... 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書..... 6
四半期連結損益計算書
第1四半期連結累計期間..... 6
四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間..... 7
(3) 継続企業の前提に関する注記..... 8
(4) セグメント情報等..... 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記..... 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間(平成25年２月１日～平成25年４月30日)におけるわが国経済は、新政権の積極的な経済・金融政策に対する期待感から円安・株高局面となり、輸出企業を中心に業績改善がみられたものの、欧州債務問題の長期化懸念や東アジア周辺諸国との関係悪化など、不安定な国際情勢は継続しており、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

情報サービス産業を取り巻く環境は、クラウドサービスの拡大、モバイル端末の業務利用、ビッグデータ分析など、ITサービスの新しい活用形態が普及し始めており、各ベンダーともに大きく変化する市場環境および顧客ニーズへの対応が求められております。

このような状況下、当社グループは新たな成長を目指すべく「高品質のITで顧客の事業発展に貢献する」の経営方針のもと、「品質を作る」「品質を保証する」「品質を維持する」をキーワードとして、クラウドサービス事業の加速化、プロベック事業分野におけるビジネスシステム検証サービスの拡大、自社開発製品のさらなる拡販、当社独自の新サービス提供等に努めてまいりました。

その結果、当第１四半期連結累計期間の業績は、売上高は106億５千８百万円、前年同期比８億５千９百万円(8.8%)の増、営業利益は５億５千６百万円、前年同期比１億６千５百万円(42.2%)の増、経常利益は５億７千３百万円、前年同期比１億３千１百万円(29.7%)の増、四半期純利益は２億２千６百万円、前年同期比１億６千８百万円(42.6%)の減となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

当社グループは、事業内容および経営環境に関してより適切な情報を把握するため、当連結四半期会計期間より、従来の報告セグメント「プロベック事業」、「プロフェッショナル事業」、「プロセス事業」および「プログレス事業」の４区分を「品質検証サービス」、「IT基盤サービス」、「ビジネス支援サービス」および「システム構築サービス」に変更しております。したがいまして、前年同期比較については、前年同期実績値を変更後の区分に組み替えて行っております。

（品質検証サービス）

品質検証サービス分野におきましては、従来のエンベデッドシステム検証サービスに次ぐ事業の柱を確立すべく、ビジネスシステム検証サービスおよびECHONET Lite(エコーネットライト)関連認証・検証サービスの拡大に注力してまいりました。業績面につきましては、海外メーカーを中心にスマートフォン検証分野が受注増となったものの、国内メーカーの経営環境悪化に伴う受注減が影響し、売上高は９億９千７百万円、前年同期比７千９百万円(7.4%)の減、営業利益は９千５百万円となり、前年同期比５千９百万円の減となりました。

（IT基盤サービス）

IT基盤サービス分野におきましては、高い安全性と信頼性を誇る当社データセンターを活用したクラウドストレージサービスの提供・販売を推進してまいりました。業績面につきましては、インフラ構築サービスが堅調に推移したほか、新規商談の獲得およびさらなる経費削減に努めた結果、売上高は27億８千１百万円、前年同期比２億３千７百万円(9.3%)の増、営業利益は３億８千７百万円となり、前年同期比４千９百万円の増となりました。

（ビジネス支援サービス）

ビジネス支援サービス分野におきましては、産業用ロボットの最適配置・動作検証シミュレーション「RoboDiA™」(ロボディア)の提供を開始するなど、ものづくりソリューションのサービス拡充に努めてまいりました。業績面につきましては、自社開発製品であるドキュメントソリューション「SmartSESAME® Secure Print！」(スマートセサミ セキュアプリント)シリーズの販売が好調に推移したほか、大口の仕入販売を受注したことなどにより、売上高は14億６千４百万円、前年同期比４億５千６百万円(45.3%)の増、営業利益は１千８百万円となり、前年同期比８百万円の増となりました。

（システム構築サービス）

システム構築サービス分野におきましては、より高品質・高付加価値なサービスを顧客へ提供すべく、開発の分業化推進によるコスト削減、プロジェクト監視強化による開発品質の向上ならびに当社独自開発テンプレート活用による生産性の向上に努めてまいりました。業績面につきましては、金融系・情報通信系の受注拡大が大きく貢献し、売上高は54億１千４百万円、前年同期比２億４千５百万円(4.7%)の増、営業利益は７億９千万円となり、前年同期比１億５千９百万円の増となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（総資産）

総資産の残高は348億２千６百万円となり、前連結会計年度末と比べ８億４千７百万円の増加となりました。これは、現金及び預金が９億７千８百万円増加、受取手形及び売掛金が１億３千７百万円減少したことなどによるものです。

（負債）

負債の残高は148億１千１百万円となり、前連結会計年度末と比べ６億７千１百万円の増加となりました。これは賞与引当金が４億２千９百万円増加するとともに、買掛金が３億２千２百万円増加、短期借入金が返済により９千万円減少したことなどによるものです。

（純資産）

純資産の残高は200億１千５百万円となり、前連結会計年度末と比べ１億７千６百万円の増加となりました。これは、四半期純利益を２億２千６百万円計上したこと、その他有価証券評価差額金が８千４百万円増加、少数株主持分が２千７百万円増加、剰余金の配当により１億７千４百万円減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年１月期の連結業績予想につきましては、平成25年３月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年１月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年４月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,260,120	6,238,585
受取手形及び売掛金	7,573,704	7,435,734
有価証券	327,750	373,900
商品	49,465	48,867
仕掛品	568,033	539,236
その他	1,171,861	1,284,628
貸倒引当金	△44,643	△9,665
流動資産合計	14,906,292	15,911,288
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,486,748	8,330,955
土地	2,512,896	2,512,896
リース資産（純額）	4,190,988	4,109,682
その他（純額）	864,234	960,208
有形固定資産合計	16,054,868	15,913,743
無形固定資産		
のれん	31,154	24,312
その他	543,801	498,178
無形固定資産合計	574,956	522,491
投資その他の資産		
その他	2,465,060	2,500,628
貸倒引当金	△22,432	△21,768
投資その他の資産合計	2,442,628	2,478,859
固定資産合計	19,072,453	18,915,095
資産合計	33,978,745	34,826,383

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年１月31日)	当第１四半期連結会計期間 (平成25年４月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,225,142	1,547,627
短期借入金	2,192,400	2,102,400
未払法人税等	188,166	356,731
賞与引当金	382,059	811,904
受注損失引当金	56,575	1,572
その他	2,350,350	2,368,019
流動負債合計	6,394,695	7,188,255
固定負債		
長期借入金	200,900	213,700
長期未払金	573,424	547,294
リース債務	3,960,132	3,878,417
繰延税金負債	288,473	288,773
退職給付引当金	1,646,975	1,614,758
役員退職慰労引当金	5,233	4,743
資産除去債務	1,069,979	1,075,171
固定負債合計	7,745,118	7,622,859
負債合計	14,139,814	14,811,114
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,586,000	6,586,000
資本剰余金	6,415,030	6,415,030
利益剰余金	8,316,354	8,368,858
自己株式	△1,748,969	△1,748,969
株主資本合計	19,568,415	19,620,918
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△147,342	△62,414
為替換算調整勘定	413	11,862
その他の包括利益累計額合計	△146,928	△50,551
少数株主持分	417,445	444,901
純資産合計	19,838,931	20,015,269
負債純資産合計	33,978,745	34,826,383

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成24年２月１日 至 平成24年４月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成25年２月１日 至 平成25年４月30日）
売上高	9,798,361	10,658,200
売上原価	7,911,586	8,614,589
売上総利益	1,886,774	2,043,611
販売費及び一般管理費	1,495,266	1,487,053
営業利益	391,508	556,558
営業外収益		
受取利息	245	261
受取配当金	963	―
有価証券売却益	63,174	―
有価証券評価益	12,230	46,150
保険解約返戻金	8,907	―
その他	38,682	41,197
営業外収益合計	124,203	87,609
営業外費用		
支払利息	70,727	64,427
その他	2,736	6,140
営業外費用合計	73,464	70,567
経常利益	442,247	573,600
特別損失		
固定資産除却損	1,181	1,554
投資有価証券評価損	2,126	―
特別損失合計	3,308	1,554
税金等調整前四半期純利益	438,938	572,045
法人税、住民税及び事業税	53,877	328,915
法人税等調整額	△4,648	△12,761
法人税等合計	49,228	316,153
少数株主損益調整前四半期純利益	389,710	255,892
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△5,091	29,095
四半期純利益	394,801	226,796

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成24年２月１日 至 平成24年４月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成25年２月１日 至 平成25年４月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	389,710	255,892
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,909	85,231
為替換算調整勘定	5,004	7,874
持分法適用会社に対する持分相当額	1,248	4,157
その他の包括利益合計	16,162	97,263
四半期包括利益	405,872	353,155
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	410,294	323,173
少数株主に係る四半期包括利益	△4,422	29,981

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第１四半期連結累計期間（自　平成24年２月１日　至　平成24年４月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額（注）１	合計
	プロベック事業	プロフェッショナル事業	プロセス事業	プログレス事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,120,932	3,409,872	818,063	4,449,492	9,798,361	－	9,798,361
セグメント間の内部売上高又は振替高	29,372	22,333	4,653	84,009	140,368	△140,368	－
計	1,150,305	3,432,206	822,717	4,533,501	9,938,730	△140,368	9,798,361
セグメント利益又は損失（△）	76,889	85,751	△37,462	253,275	378,453	13,054	391,508

（注）１　セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去13,054千円が含まれております。

２　セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第１四半期連結累計期間（自　平成25年２月１日　至　平成25年４月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額（注）１	合計
	品質検証サービス	IT基盤サービス	ビジネス支援サービス	システム構築サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	997,628	2,781,658	1,464,259	5,414,654	10,658,200	－	10,658,200
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,454	23,968	48,037	33,425	111,885	△111,885	－
計	1,004,082	2,805,626	1,512,296	5,448,080	10,770,086	△111,885	10,658,200
セグメント利益	95,886	387,629	18,004	790,701	1,292,221	△735,663	556,558

（注）１　セグメント利益の調整額△735,663千円は、主に報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２　報告セグメントの変更等に関する事項

従来、報告セグメントを「プロベック事業」、「プロフェッショナル事業」、「プロセス事業」および「プログレス事業」の４区分としていましたが、当第１四半期連結会計期間より、事業内容および経営環境に関してより適切な情報を把握するため、事業区分を見直し、「品質検証サービス」、「IT 基盤サービス」、「ビジネス支援サービス」および「システム構築サービス」に変更しております。

なお、セグメントの事業区分を変更したことによる前第１四半期連結累計期間の報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報は、以下のとおりであります。

前第１四半期連結累計期間（自　平成24年２月１日　至　平成24年４月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額（注）１	合計
	品質検証サービス	IT基盤サービス	ビジネス支援サービス	システム構築サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,076,975	2,544,585	1,007,531	5,169,269	9,798,361	－	9,798,361
セグメント間の内部売上高又は振替高	29,372	10,667	25,035	86,495	151,571	△151,571	－
計	1,106,348	2,555,253	1,032,566	5,255,764	9,949,932	△151,571	9,798,361
セグメント利益	154,958	338,442	9,941	630,900	1,134,242	△742,734	391,508

（注）１　セグメント利益の調整額△742,734千円は、主に報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。